

「都市再生整備計画(案)」に対する意見の概要及び意見に対する市の考え方

	提出された意見の概要	市の考え方
滑川富山線 (歩道整備)	<p>街路樹と街路樹との間に芙蓉の花などを植えないでいただきたい。小路から県道への車の右左折の際、また、横断者にとって見えにくく危険である。 段差をなくし車椅子や乳母車にもやさしいものを希望する。</p> <p>駅、並びに市庁舎近辺は滑川の顔であり、整備される事は大変良い事ではありますが、高質化と名うってムダに高い材質の使用には注意していただきたい。</p>	<p>歩道整備については、交差点における安全対策や舗装の材質等の検討及びバリアフリー化には十分な配慮が必要であると考えています。</p>
ポケットパーク (中滑川駅)	<p>富山市のライトレール「岩瀬浜駅前」のようなイメージを望む。</p>	<p>中滑川駅前広場については、バスベイやポケットパークを整備することとしており、市民が集い、安らげる広場となるような整備をしたいと考えています。</p>
まちなか休憩 スペースおよび 歩行系サインの 整備	<p>歩行系サインとは何ですか？歩く人は高齢者や子どもが多く、誰でもわかる文字や言葉を使用してほしい。</p> <p>第1期まちづくり交付金事業で作成した冊子「なめりかわ・宿場回廊めぐり・案内マップ」に記載された事柄をもう少し詳しく紹介出来たら良いと思います。</p>	<p>歩行系サインは、第1期まちづくり交付金事業で実施した宿場回廊めぐりの案内看板として設置しており、本事業においてこれを拡大設置することとしております。サイン標示内容については、だれでもわかりやすいものとなるように整備をしたいと考えています。</p>
市民会館大 ホールの改修	<p>ホールとしての利用率を確保するためにも、音楽・演劇等舞台芸術にも対応できるよう「最低限の機能」を備えることを前提において、計画を進めていただきたい。 良いホールとは舞台から奥のホールに本来備えておくべき各種機能、設備など目に見えない部分に注意。 1 ステージの広さ(特に奥行き)の確保 2 ステージ裏通路の幅(人・物の移動スペース) 3 倉庫、搬入口、楽屋、練習室の確保 その他 客席ロールバック方式は不可</p> <p>可動式の客席は致し方ないと思うが、昇降時に音がしない方がよい。 防音・ステージ・照明・音響関係を充実するように切に希望する。 正面入口は現在の場所でもよいのではないか。 またホール内のステージの位置は移動可能か否か</p> <p>市民大ホールについてですが、私は利用を頻繁にしますが、演奏や講演で使うのにふさわしい施設であるかどうかを専門家の意見を聞きながら、改築の計画を進めていただければと思います。</p>	<p>市民会館大ホールは老朽化が著しいため、災害時における避難施設を兼ねた「多目的ホール」として、市民の安全・安心の確保のため耐震化を行うとともに、ステージや音響施設の改修により利便性の向上を図りたいと考えています。 防音、ステージ、照明、備品などについては専門家や利用団体等からの意見を参考に詳細な設計の中で検討していきたいと考えています。</p>

	提出された意見の概要	市の考え方
市民会館大ホール の改修	<p>1. 音響板を備えたステージにしてほしい。</p> <p>2. 付設して、1Fに備品置きをつくってほしい。また、2Fには、ゲストルーム2室(洋間)と控室2室(和室)をトイレ付きで、鏡付き、衣装かけ付きでお願いしたい。</p> <p>3. 照明にも専門家と相談されて、もうすこし配慮してほしい。</p> <p>予算をオーバーしてでも実行してほしいものです。</p>	上記に同じ
	施設建物と並行して、同敷地内の駐車場、または利用者の憩いの場となる休憩スペース、売店なども一体的に整備してみてはどうか	
	<p>今の状態では、講演会や演奏会を聴く立場では座席、照明、音響、騒音(外部からの)に関して不具合を感じます。</p> <p>また、会場の準備や本番前後の待機等々を思うと、精一杯の準備をしても、何か「やる気」を殺ぐような感覚になり異常な思いがした。</p>	
	<p>整備すべき必要設備等</p> <p>1 客席 ・最低700席</p> <p>2 舞台 ・音響反響板 ・照明 ・舞台裏の往来通路</p> <p>3 控室;着替え、待機、休憩、鏡付き、テーブル、椅子、洋服掛け</p> <p>4 備品 ・ピアノ ・指揮台 ・指揮者用譜面台、オーケストラ用譜面台、譜面灯(オペラ用) ・平台、箱足</p> <p>5 備品等収納庫 ・平台、箱足、指揮台、譜面台等の収納</p>	
	<p>一般市民からの意見提言を取り入れた計画進行状況の途中経過の説明機会があればいいと思う。</p> <p>特に、望む役割を果たすために、「災害時の避難場所」としての必要最小限の機能は何か。そして、「多目的利用」の定義、そしてこの場合にもそのための必要機能は何か、を明確にし、許される予算内ではどのような「形」になるのかを公表すべきではないのか。</p>	これまで大ホールを活用いただいている団体の方々との意見交換会については、今後とも必要に応じて、実施していきたいと考えています。
	リニューアルに際して、市内外の主な利用者・団体から具体的な改善点などを聴取してはどうか	
	有効な利用を思うと、何か運営の方法を、市民や外部の有識者も加えた検討会のようなものもあっていいのではないかと考えます。	市民会館大ホールの整備後の運営方法については、先進の事例等を参考にしながら検討をしたいと考えています。
	改修後の市民大ホールを滑川市の文化の拠点とするため、ボランティアで市民(各団体、公募)が参加した企画委員会的なものを作り、「香り高い文化のまち滑川」を実現していくための企画・運営方法について検討していく場を定期的に設けた方が有効である。また、併せて専門スタッフを置き、滑川市芸術文化創造の中心的な役割を果たせるよう育てていくことを提案する。	

	提出された意見の概要	市の考え方								
市民会館大ホールの改修	・施設の愛称を公募などで募集してはどうか	市民会館大ホールは、市民から親しまれる施設として活用していただきたいと考えており、施設の愛称公募の取組みについては、今後検討していきたいと考えています。								
橋場のまちづくり(土蔵活用、親水公園)	橋場のまちづくりは時期としては、もう終わってしまっているように思いますが、土蔵活用等のまちなみ再生の一環として行われるならば、親水公園は名ばかりとならないようにお願いしたいと思います。	親水公園については、景観にも配慮し、人が集い、親しめるような公園の整備に努めたいと考えています。								
備蓄倉庫および防災用資機材整備	備蓄倉庫はどうしてこの場所に？ 再利用ですか？ 体育館近くの空地が良いのでは？	備蓄倉庫は西地区において防災資機材を充実するために実施するものであり、新たに簡易な施設を設置する予定としています。 設置場所については、市有地を計画しておりますが、地元との協議により箇所を決定したいと考えています。								
その他	<p>住民の人口推移予測、ミュージアムの来館者数など計画を評価するために数字が必要と考えます。 町並みはすでに死に体と化していると思われる、できれば、単独でこれから整備しようとする対象に予算をつぎ込むべきと考えます。 「まちなみ」に価値観を見出すとしたら、市民の意見を聞くべきと考えます。 「海」に必ずしも造作物を作らなくとも、まちなみのイメージとして「海」を利用していないことに疑問を感じます。「海」を取り入れたイメージ(借景、背景として)で計画したほうが良いように思います。</p> <p>各事業についての数値的現状値があり、それを改善すべき効果目標値が必要です。 費用対効果のない事業は再検討が必要です。 各事業毎の年次進捗計画の公開が欲しい。</p> <p>財源は市の財政上どのような負担になるのか情報公開してほしい。</p>	<p>都市再生整備計画を国、県へ提出する際は目標値を含め、数値データを示したもので提出したいと考えています。 また、これに基づき実施する予定の第2期まちづくりでは、限られた財源の中で、駅前広場や親水公園などの整備を行い、地元の方々と協力しながらまちなみを再整備し、安全で安心な、人が集いふれあうふるさと再生のまちづくりを進めていきたいと考えています。 まちづくり交付金事業は平成22年度から26年度までの5年間を予定しており、個々の事業の実施については地元のみなさんと協議しながら、優先順位の高いものから順に実施していきたいと考えています。</p> <p>国の交付金と文化会館建設基金を活用し、極力市債は発行しない方針です。</p> <p>-予定額-</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">総事業費</th> <th colspan="2">(内訳)9月末日現在見込み</th> </tr> <tr> <th>国庫支出金</th> <th>基金取崩</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8億5千万円程度</td> <td>3億2千万円程度</td> <td>5億3千万円程度</td> </tr> </tbody> </table> <p>新しい第4次滑川市総合計画との整合性が取れるよう調整をしていきたいと考えています。</p>	総事業費	(内訳)9月末日現在見込み		国庫支出金	基金取崩	8億5千万円程度	3億2千万円程度	5億3千万円程度
総事業費	(内訳)9月末日現在見込み									
	国庫支出金	基金取崩								
8億5千万円程度	3億2千万円程度	5億3千万円程度								
	第3次滑川市総合計画は平成22年で終了します。この間の社会情勢は激変しました。計画は3年毎に見直されていますが、この都市再生整備計画が総合計画に整合されている事が明示されるべきです。									